実り多い史跡伝承事業が終了

本年度の地域発元気づくり支援金(県補助金)を活用した史跡伝承事業が全て終了した。実施した事業は、昨年に引き続き説明板の設置、ガイドブックの作成など4本立て。補助金対象の事業費は、1.615千円(内支援金1.387千円)を県へ申請した。

◇説明板は16基追加し(昨年40基)、史跡案内看板を拠点となるコミュニティセンターに設置。

◇ガイドブックは、説明板が設置されている66ヵ所を含め計81ヵ所の史跡等について解読し、86ページにまとめた。

◇歴史探訪ウォーキングは、10月28日小雨模様の中63名が参加し、若槻団地、 檀田、稲田、徳間、若槻東条と7kmの史跡コースを巡って歩いた。

◇記念シンポジウムは、11月25日若槻コミュニティセンターで開催され約100 名が参加。長野郷土史研究会会員 櫻井峰治氏、いいづな歴史ふれあい館 学芸員 小山丈夫氏を講師として、北国街道をめぐる若槻地域の当時の状況に耳を傾けた。

来年度も歴史探訪ウォーキングなどを開催し、区民に広く若槻の歴史を伝えていく考えだ。



櫻井峰治さんの講演

-見やすく分かりやすい-

[若槻地区史助ガイドラック]] 完成

地区内の史跡等81か所を1ページごとにカラー写真と説明文を付けた86ページの「史跡ガイドブック」ができ上った。

ガイドブックの発行は、本年度実施した"ふるさと若槻" 史跡伝承事業の一環で、県の地域発元気づくり支援金を活用して1,000部作成しました。郷土再発見の史跡めぐりの手引きとして活用してもらうとともに、若

い人たちにもふるさとの歴史を知ってもらうため、各学校や各区、関係機関等に配布した。 また、希望者にも配布することとしている。

部数に限りがありますので、早めにコミわか事務局266-0034にお問い合わせください。

